



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社ヨシックス 上場取引所 東・名
 コード番号 3221 URL http://www.yossix.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 吉岡 昌成
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部本部長 (氏名) 大崎 篤彦 (TEL) 052(932)8431
 兼 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,478	22.2	790	37.8	963	33.4	590	27.3
29年3月期第2四半期	6,120	17.6	573	10.9	722	14.4	463	22.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	57.44	57.09
29年3月期第2四半期	45.25	44.87

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	8,284	4,867	58.7	473.21
29年3月期	6,789	4,326	63.7	420.95

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,867百万円 29年3月期 4,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	5.00	12.00
30年3月期	—	6.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,975	17.8	1,438	25.5	1,748	25.9	1,064	22.2	103.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	10,285,600株	29年3月期	10,277,600株
30年3月期2Q	237株	29年3月期	161株
30年3月期2Q	10,278,215株	29年3月期2Q	10,251,929株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が見られたものの、個人所得の伸び悩みにより個人消費が依然低調に推移した結果、全体的に力強さを欠く状況となりました。また、米国政権の政策に対する懸念や東アジア地域の地政学的リスクの高まりにより、依然として不透明感が払拭できない状況にありました。

外食業界におきましては、原材料価格の高騰や人材需給の逼迫に伴う人件費の増加、更には消費者の節約志向の高まりや業界内の顧客獲得競争が激化の一途を辿っている等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社の当第2四半期累計期間の売上高は、7,478百万円となりました。当社の主力業態は「や台や」業態、「や台ずし」業態、「ニパチ」業態及び「これや」業態であり、その中でも「や台ずし」業態を中心に新規出店に努めてまいりました。

「や台ずし」業態は新規出店22店舗を実施し、店舗数が161店舗（フランチャイズ含む）となり、総店舗数の61.5%を占め、当業態の売上高は4,940百万円となりました。

また均一低価格居酒屋である「ニパチ」業態は新規出店4店舗、及び業態転換1店舗を実施し、店舗数が70店舗となり、総店舗数の26.7%を占め、当業態の売上高は1,846百万円となりました。

また、串カツ居酒屋である「これや」業態は、新規出店3店舗、及び業態転換1店舗実施し、店舗数が19店舗となり、総店舗数の7.3%を占め、当業態の売上高は364百万円となりました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店29店舗、業態転換2店舗を実施し、当第2四半期会計期間末の店舗数は262店舗（フランチャイズ含む）となりました。また、当第2四半期累計期間における売上高は7,478百万円（前年比22.2%増）、営業利益は790百万円（同37.8%増）、経常利益は963百万円（同33.4%増）となり、四半期純利益は590百万円（同27.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産負債の増減

当第2四半期会計期間末における総資産は8,284百万円、負債は3,417百万円、純資産は4,867百万円であり、自己資本比率は58.7%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ1,193百万円増加し、5,379百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,103百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ302百万円増加し、2,905百万円となりました。これは主に建物が211百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ872百万円増加し、2,665百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が455百万円、未払金が165百万円、及び未払法人税等が144百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ82百万円増加し、752百万円となりました。これは主に長期借入金が29百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ540百万円増加し、4,867百万円となりました。これは主に利益剰余金が539百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて1,028百万円増加し、4,055百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は前年同四半期に比べ943百万円増加し、1,506百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益212百万円、仕入債務の増減額462百万円、及び未払金の増減額161百万円の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は前年同四半期に比べ32百万円増加し、485百万円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出14百万円、及び差入保証金の差入による支出16百万円の増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は前年同四半期に比べ25百万円減少し、8百万円となりました。これは主に、配当金の支払額25百万円の増加によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成29年5月9日付「平成29年3月期決算短信」にて公表の通期業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,816,416	4,920,400
売掛金	108,860	104,727
完成工事未収入金	47	3,343
たな卸資産	105,219	121,519
その他	156,205	229,911
流動資産合計	4,186,749	5,379,902
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,454,961	1,666,535
その他	519,424	553,460
有形固定資産合計	1,974,386	2,219,995
無形固定資産	5,036	4,233
投資その他の資産	623,215	680,821
固定資産合計	2,602,637	2,905,050
資産合計	6,789,387	8,284,953
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	448,363	903,674
1年内返済予定の長期借入金	66,663	94,992
未払金	495,473	660,958
未払法人税等	278,300	422,464
その他	503,724	582,928
流動負債合計	1,792,526	2,665,018
固定負債		
長期借入金	121,693	151,284
役員退職慰労引当金	325,766	338,517
その他	223,036	262,952
固定負債合計	670,495	752,753
負債合計	2,463,021	3,417,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,752	332,512
資本剰余金	359,857	360,617
利益剰余金	3,633,854	4,172,876
自己株式	△289	△422
株主資本合計	4,325,174	4,865,583
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,191	1,597
評価・換算差額等合計	1,191	1,597
純資産合計	4,326,365	4,867,181
負債純資産合計	6,789,387	8,284,953

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,120,744	7,478,139
売上原価	1,977,542	2,398,157
売上総利益	4,143,201	5,079,982
販売費及び一般管理費	3,569,575	4,289,294
営業利益	573,626	790,687
営業外収益		
協賛金収入	145,287	168,252
その他	3,827	4,915
営業外収益合計	149,115	173,167
営業外費用		
支払利息	226	121
営業外費用合計	226	121
経常利益	722,515	963,733
特別利益		
固定資産売却益	—	1,999
受取補償金	47,160	—
特別利益合計	47,160	1,999
特別損失		
固定資産除却損	2,276	840
減損損失	14,859	—
特別損失合計	17,136	840
税引前四半期純利益	752,539	964,892
法人税、住民税及び事業税	291,144	380,144
法人税等調整額	△2,557	△5,661
法人税等合計	288,586	374,482
四半期純利益	463,953	590,409

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	752,539	964,892
減価償却費	162,116	170,654
長期前払費用償却額	4,119	7,026
減損損失	14,859	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,016	12,751
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△51	—
受取利息及び受取配当金	△752	△514
支払利息	226	121
固定資産売却益	—	△1,999
固定資産除却損	2,276	840
受取補償金	△47,160	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,151	837
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,229	△16,299
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,658	455,559
未払金の増減額(△は減少)	3,794	165,484
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29,209	△12,495
前受収益の増減額(△は減少)	△2,140	6,750
長期前受収益の増減額(△は減少)	12,403	39,416
その他	△47,759	△46,280
小計	826,541	1,746,745
利息及び配当金の受取額	752	514
利息の支払額	△240	△129
法人税等の支払額	△310,974	△240,672
補償金の受取額	47,160	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	563,239	1,506,457
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△620,000	△795,000
定期預金の払戻による収入	540,000	720,000
固定資産の取得による支出	△350,754	△364,998
固定資産の売却による収入	—	2,000
差入保証金の差入による支出	△21,423	△38,331
差入保証金の回収による収入	2,174	4,087
貸付金の回収による収入	82	7
長期前払費用の取得による支出	△3,984	△13,167
その他	913	△123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△452,994	△485,524
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△87	△133
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△45,014	△42,080
配当金の支払額	△25,574	△51,255
ストックオプションの行使による収入	4,040	1,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,363	8,050
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	143,609	1,028,983
現金及び現金同等物の期首残高	2,593,170	3,026,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,736,779	4,055,400

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、飲食事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。